

ふくし



鎌倉市議会議員
千 せん
はじめ

一 はじめ

「千一と介護・福祉・
バリアフリーを考える会」

会報 2016年度1号



千 一 (せん はじめ)

鎌倉市扇ガ谷在住。鎌倉市議会議員4選。

神奈川大学経済学科卒業。

全身強いアテトーゼ（不随意運動・凝縮）を持った出生時からの重度の脳性麻痺により、手足、言語に障害を持つ。自由に動く左足指で、文字を書き、音声キーボードをたたくことでコミュニケーションをとる。

「横浜市脳性麻痺者協会」副会長をつとめた。障害者の「グループホーム」の運営に携わってきた。鎌倉の介護・福祉・バリアフリー充実、前進のために只今、奮闘中 !!

<連絡先>

おうぎがやつ

〒248-0011 鎌倉市扇ガ谷 4-27-7

電話 0467 (61) 2031

FAX 0467 (61) 2032

E-mail senhaji@jcom.zaq.ne.jp

URL <http://www.senhajime.jp/>

*お問い合わせ先 : TEL 0467-31-6565<森木>

千一が 推し進めていきたい事

1. ハンデを持った方の意見が反映される社会をともに作ります。
2. どのような障害・病気・けがの方でも選挙に立候補でき、または選挙の時投票できるように努めます。
3. 誰もが移動しやすい交通政策の実現を目指します。
◎電車・バス・タクシーなどの公共交通機関を誰でも利用できるように努めます。
◎危ない踏切を快適に誰もが渡りやすくなるように努めます。
4. 高齢の方も障害のある方も住みよい地域社会を作ります。
◎でこぼこな歩道の解消や段差をなくすように努めます。
◎災害時、自力で危険を回避できない方の援護をしっかりと確立していきます。
5. 社会保障を充実したものに改善していきます。
◎介護を受ける方や介護をする方の条件が良くなるように努めます。そして医療保障や所得保障に前向きに努めます。

6. 安全で、のびのびと、個性的な子供を育てられる社会の確立こそ、私たちの将来を作ります。
7. 通学路での児童の安全確保に努めます。
8. 市内の小・中学校のエレベーターや多目的トイレの推進などバリアフリー化に努めます。
9. 心のバリアフリーこそがよりよい社会を作ります。
◎子供のころから外見・考えの違いを認めあい、いじめのない学校生活・社会生活にしていくように努めます。
◎人が集まる場所での手話通訳・車いすや移動困難な方へのサポートなど、ソフト面でのバリアフリー化に努めます。

そういう社会こそ、「誰もが住みやすい社会」なのだ、と思います。



2016年2月市議会